

# 爽風

そうふう

Sozoku & Fudosan

Vol.26

## 新不動産鑑定士のご紹介

皆様、こんにちは。フジ総合グループ代表の藤宮浩です。今回は、フジ総合グループに新しく誕生した不動産鑑定士をご紹介します。『株式会社フジ総合鑑定』に所属する小野寺 恭孝君と、茂木 悟君です。

二人が入社したのは同じ平成20年9月。その頃のフジ総合グループは、スタッフが10人程、オフィスも15坪程の部屋の中、肩を寄せ合って業務を行っていました。それから約7年間。現在のスタッフは、大阪事務所も合わせて70人程の規模になりました。

二人の成長と発展は、そのまま会社の成長と発展につながったと言っても過言ではありません。見事に勉強と実務とを両立させ、会社の発展に貢献してくれたことに心から感謝しています。

### ご挨拶

小野寺…「本年3月に不動産鑑定士登録をいたしました。不動産鑑定士を志してから5度の挑戦の末、平成24年に不動産鑑定士試験合格、そこから2年間の実務修習を経て…と、実に7年の歳月を要しました。当然ながら、決して一人では為し得なかつたものであり、支えていただいたすべての方に感謝申し上げます。

私は主に、相続税申告に係る不動産

の評価を担当しております。相続における不動産の評価と一口に申ししましても、いざ相続が発生したときのみならず、円満な相続や節税を目的とした生前対策や、すでに相続が発生した後のセカンドオピニオンとしての評価の見直しの際など、多くの場面で不動産の適切な評価が必要とされます。

不動産はひとつとして同じ物がないと言われるほど個性が強いものです。評価の場面においても、教科書通りには評価できない不動産が数多く存在します。そのような不動産を適切かつ合理的に判断し評価することが、私の使命でもあります。今後、不動産鑑定士としてさらなる自己研鑽に励み、その使命を全うすべく邁進してまいります。」



不動産鑑定士

小野寺 恭孝

茂木…「平成24年の不動産鑑定士試験合格から実務修習を経て、本年3月、不動産鑑定士登録をいたしました。

思い返すと7年もの間、周囲の方々に助けられてきたことを実感します。長期にわたった試験勉強と実務修習期間には、家族の協力、職場の理解、先輩方の手厚い指導があり、無事に乗り越えることができました。

私はのどかな田園風景が広がる農村に生まれ、代々農業を営む実家で幼少期を過ごしました。我が国では都市部への人口集中と地方の過疎化の進展が問題になっておりますが、私の実家はまさに人口減少が問題になっている地域にあります。そのような社会経済情勢の影響は、地域の不動産価格に如実に現れます。そんな不動産の奥深さに惹かれ、前職での不動産仲介・管理業務等を通じて、『不動産鑑定士として、深い知識と専門性を身につけることができれば、多くの方のお役に立ち、さらに社会貢献できるチャンスが広がる』と考え、受験を決意しました。

今後もお客様が抱える様々な不動産問題を解決するプロフェッショナルとして成長できるよう、日々の業務に取り組ませていただきます。」



不動産鑑定士

茂木 悟

二人とも、不動産鑑定士登録おめでとうございます。受験生時代から実務修習期間を合わせ約7年間、本当に長い闘いでしたね。ぜひ、この資格を生かして一人でも多くのお客様に「安心」「満足」「喜び」を感じていただければ、頑張つてほしいと思います。今後

『爽風』では、皆様からの声を募集しています。感想、ご意見、特集記事やテーマのリクエストなどがございましたら、お気軽にお申し付けください。

E-Mail : so-fu@fuji-sogo.com もしくは、フリーダイヤル 0120-08-0907

担当：宮下(由美)・加藤